

MitsuiSougou通信

押し込み強盗の被害にあわないために

住宅強盗の認知件数はコンビニ強盗に匹敵

「強盗」と聞くと、銀行強盗やコンビニ強盗など、店舗が狙われるイメージがありますが、住宅強盗はコンビニ強盗と同じくらい発生しています。

侵入強盗の半数近くをコンビニ強盗が占めていた時期がありましたが、近年ではほとんどの店舗に防犯カメラや非常通報装置などのセキュリティシステムが導入され、防犯対策が徹底されています。銀行や郵便局、金融機関のセキュリティはさらに強固です。

強盗にとって、これらの店舗が狙いにくい場所である一方、防犯対策が手薄な個人住宅は狙いやすい場所になっているとも考えられます。

巧妙な手口で強引に家に侵入し、住人に暴行を加えて金品を奪うのが「強盗」です。

無防備な住宅が狙われています。

強盗は殺人事件につながる可能性もある犯罪です。万全の対策を心がけましょう。



押し込み強盗の手口とは？

住宅強盗の手口はさまざまです。

住人の留守を狙う「空き巣」や、住人に気づかれぬように侵入する「居空き」は、鉢合わせを避けて金品を奪う手口ですが、暴行を加える強盗は、玄関から堂々と侵入する手口が少なくありません。とくに注意したい「押し込み強盗」の手口を紹介します。

【共連れ】

住人の後をつけて玄関前まで近づき、鍵をあけて玄関ドアを開けた途端に後ろから押し入る手口。オートロック付のマンションで、住人のふりをして一緒にエントランスを通り抜け、押し入る手口もあります。

【業者を装って玄関を開けさせる】

宅配業者やガス・電気の点検などを名乗って、住人が玄関ドアを開けた途端に家に押し入る手口。ガス漏れや水道管の破裂など、緊急性を装ってドアを開けさせるケースもあります。

【アポ電】

特殊詐欺の手口が、住宅強盗にも使われています。

確実に現金がある家に狙いを定めるために、特殊詐欺のような電話をかけてくることがあります。

特殊詐欺のように現金をだまし取るのではなく、暴力によって金銭を奪いに来ます。

日ごろから心がけたい「押し込み強盗」の対策

これらの「押し込み強盗」の手口を見ると住人が気を付けることで防ぐことができるケースもあります。自分の後ろを歩いている人やインターホンを押した訪問者が、まさか強盗だとは思えないからこそ、油断が生じます。そのすきが狙われていると心得ましょう。日ごろから次のような防犯対策を心がけてください。

<押し込み強盗を防ぐための防犯対策>

- ・帰宅中は周囲を警戒し、不審な人物がいないかときどき振り返る
- ・玄関の鍵を出す前に周囲を見回し、誰もいないことを確認する
- ・素早く鍵を開けて家に入り、すぐに鍵を閉める
- ・事前の告知なく業者が突然訪問したときは、うかつにドアを開けない
(名乗っている事業所に直接問い合わせるなどして、情報の真偽を必ず確認する)
- ・宅配便業者は、チェーンやドアガード越しに伝票のやりとりをし、ドアを開けない
(荷物は玄関先に置いてもらうなどして、直接受け取らない)
- ・身内を名乗る相手でも、家にある現金の所在や金額を教えない



ほかの犯罪にも通じる基本的な防犯対策ばかりですが、「自分が被害にあうかもしれない」という意識がないと、徹底しようとはなかなか思わないものです。押し込み強盗の被害は、他人事ではありません。

基本的な防犯対策を習慣化し、おろそかにしないようにしましょう。

(出典：セコムホームページ)

安全運転アドバイス

交通場面には「見える危険」だけでなく、さまざまな「見えない危険」があります。「見えない危険」は発見が遅れやすいため事故につながる可能性が大きくなります。そこで今回は、「見えない危険」についてまとめてみました。



駐車場の塀などが作る「見えない危険」

道路沿いには多くの駐車場があります。見通しの良い駐車場もあれば塀や植込みなどにより見通しの悪い駐車場もあります。特に注意したいのは、コンビニエンスストアなどの不特定多数の車や自転車が利用する見通しの悪い駐車場です。こうした場所は、見通しの悪い交差点と同じだと考えて、速度を落とし、駐車場から出てくる車や自転車がいないかどうかをしっかりと確認しましょう。

交差点接近時に先行車を作る「見えない危険」

交差点接近時にバスやトラックなどの大型車に追従して走行すると、前方の見通しが悪くなり、交差点の信号が確認できないことがあります。その状態で走行すると、赤信号で交差点に進入してしまうおそれがあります。できるだけ大型車に追従して走行するのは避けるのが望ましいのですが、やむを得ず大型車に追従して走行する場合は、前方の信号が確認できるくらいの車間距離をとり、前方の視界の確保するようにしましょう。

交差点接近時に先行車を作る「見えない危険」

◆対向右折車を作る「見えない危険」

右折時に対向右折車がいると、その後方が死角となり、対向車線の状況が確認しにくい状況となります。特に対向右折車が大型車の場合には死角が大きくなり、死角部分から直進してくる二輪車などを見落とす危険が高まります。対向車線の状況が確認しにくいときは、一気に右折するのではなく、徐々に進行して対向車線の状況が見えるところで一時停止して、対向車の有無を確認しましょう。

◆対向直進車を作る「見えない危険」

対向直進車が大型車の場合、その後方を走行している後続車の有無が確認できないことがあります。そのため対向直進車の通過直後にいきなり右折を開始すると、後続車と衝突する危険があります。対向直進車の通過後は一呼吸置いて、必ず後続車の有無を確認するようにしましょう。

◆知って得する保険の話◆ ～保険料控除について～

対象となる契約の払込保険料について、所得税と住民税の負担を軽減できる制度を保険料控除制度といいます。保険料控除制度では、その年の1月1日から12月31日までの1年間に払い込まれた保険料の一定額を課税所得から控除することができます。保険料控除制度には地震保険料控除制度と生命保険料控除制度の2種類があります。

ぜひ、生命保険や地震保険へのご加入をご検討下さい。

「ちょっと聞いてみたいな」ということがございましたら、どうぞお気軽にお声掛け下さい。



◆おいしいレシピ◆ ～きのこたっぷり鶏肉のトマト煮～

【材料】4人分

- ・トマトソース1缶(295g)
- ・鶏もも肉400g
- ・エリンギ100g
- ・しめじ100g
- ・白ワイン1/4カップ
- ・オリーブオイル大さじ1
- ・塩・こしょう各適量



【作り方】

1. 鶏肉は一口大に切り、塩・こしょうをする。エリンギは一口大に切り、しめじは小房に分ける。
2. フライパンに油をなじませ、鶏肉を入れて両面を色良く焼き、エリンギ、しめじを加えて炒め合わせる。
3. 出てきた油をペーパータオルなどでふき取り、白ワインを入れて煮立てる。アルコールが飛んだら基本のトマトソースを加えて煮立て、弱火で約10分煮る。塩・こしょうで味をととのえ、器に盛る。

